



政府統計

報道関係者 各位

令和3年3月31日

【照会先】政策統括官付参事官付賃金福祉統計室

室長 角井 伸一

室長補佐 野々部 恵美子

賃金第一係 (代表電話) 03(5253) 1111 (内線 7656, 7634)

「令和2年賃金構造基本統計調査」の結果を公表します

厚生労働省では、このほど「令和2年賃金構造基本統計調査」の結果を取りまとめましたので公表します。

「賃金構造基本統計調査」は、全国の主要産業に雇用される労働者の賃金の実態を、雇用形態、就業形態、職種、性別、年齢、学歴、勤続年数、経験年数別等に明らかにすることを目的として、毎年6月分の賃金等について7月に調査を実施しています。

今回公表する内容は、全国及び都道府県別の賃金について、調査客体として抽出された78,181事業所のうち有効回答を得た54,874事業所から、10人以上の常用労働者を雇用する民間事業所(48,007事業所)について集計したものです。

賃金構造基本統計調査では、労働者の雇用形態、年齢、性別などの属性と賃金の関係を明らかにする目的に鑑みて、調査月に18日以上勤務しているなどの要件を満たした労働者のみを集計の対象としております。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年と比べて要件を満たす労働者の割合が減少しており、公表値もその影響を受けている可能性があります。結果の活用にあたってはご留意ください。

また、「公的統計の整備に関する基本的な計画」(平成30年6月3日閣議決定)にて定められた「今後5年間に講ずる具体的施策」として、賃金構造基本統計調査における調査対象職種の見直しや学歴区分の細分化、回収率を考慮した労働者数の推計方法の変更などが挙げられたことを受け、令和2年調査より一部の調査事項や推計方法などを変更しました。このため、これまでの公表値との比較には注意が必要です。

<調査結果のポイント>

1 一般労働者(短時間労働者以外の労働者)の賃金(月額)^(注1)

(1) 性別にみた賃金(月額)

男女計 307,700円(前年比^(注2)0.6%増) (年齢43.2歳、勤続年数11.9年)

男性 338,800円(同 0.8%増) (年齢43.8歳、勤続年数13.4年)

女性 251,800円(同 0.8%増) (年齢42.0歳、勤続年数9.3年)

※ 男女間賃金格差(男=100) 74.3(前年差^(注2)0.0ポイント) 【1頁・第1表、2頁・第2表】

(2) 新規学卒者の学歴別にみた賃金(月額)【新規項目】^(注3)

大学院 255,600円 大学 226,000円

高専・短大 202,200円 専門学校 208,000円

高校 177,700円

【10頁・第9表】

2 短時間労働者の賃金(1時間当たり)^(注1)

男女計 1,412円(前年比^(注2)8.3%増) (年齢45.9歳、勤続年数6.0年)

男性 1,658円(同 2.9%増) (年齢43.7歳、勤続年数5.2年)

女性 1,321円(同 11.6%増) (年齢46.8歳、勤続年数6.3年)

【11頁・第10表】

(注1) 6月分として支払われた所定内給与額の平均値(1は月額、2は時間額)。

(注2) 前年比(差)は、令和2年と同じ推計方法で集計した令和元年の数値を基に算出している。

(注3) 新規学卒者の賃金については、通勤手当を含む値となっているなど、令和元年以前の「初任給額」とは異なる方法により集計しているため、注意を要する。

詳細は、別添概況をご覧ください。